



スポーツを通じて未来を育てる

ルリー口福岡は、地域の未来を応援するために、子どもたちに向けた様々な活動を行っています。今年の4月、うきは市教育委員会生涯学習課と協力し、市内6つの小学校で「タグラグビー教室」と「夢や仕事についての授業」を行いました。スポーツを通じて、子どもたちに笑顔や夢を届けたいという思いから始まった活動です。

小学校の体育館で開催したタグラグビー教室では、慣れない楕円形のボールを使いこなすプロ選手たちに驚きながら、選手と一緒に元気に駆け回る子どもたちの姿が見られました。

選手による授業では、「移住した選手から見たうきはの素晴らしさ」「選手の子どもの時代の夢」など、子どもたちに向けてたくさんのテーマで語られ、子どもたちからは「もっとたくさん学校に来てほしい！」などの嬉しい感想が聞かれました。プロ選手たちと身近に触れ合えることで、子どもたちがスポーツの楽しさを感じ、夢を持つきっかけになったのではないかと思います。



子どもたちとのふれあい

ルリー口福岡は学校訪問だけでなく、うきは市内の地域コミュニティとの交流も行っています。3月、選手たちは千年こどもひろば（※）を訪れました。午前中はひろばの子どもたちと一緒にカレーを作ってみんなで食事を楽しみ、

午後は千年小学校体育館でタグラグビーを行いました。選手たちにとって、子どもたちと料理をするのは初めての体験で、選手からは「これからも地域の子とラグビー以外でも触れ合う時間を作っていきたい」といった感想が聞かれました。子どもたちと長い時間を共に過ごし、選手たちにとっても楽しい一日となりました。

（※）毎週土曜日に千年コミュニティセンターに近隣の子供たちが集まり、お昼ご飯を作って食べたり、一緒に遊んだりすることで、子どもたちに居場所を提供する地域の取り組みです。

ホームタウンうきは市とともに

ルリー口福岡は、選手と子どもたちが触れ合い、プロスポーツを身近に感じてもらうことで、スポーツの楽しさや夢を持つ大切さを感じてもらいたいと考えています。一昨年6月、ルリー口福岡とうきは市、うきは市商工会、福岡県立浮羽究真館高等学校は4者の連携協定を締結しました。スポーツを地域の資源として活用し、地域がより発展していく未来を目指し、ルリー口福岡はまちづくりに取り組んでいます。